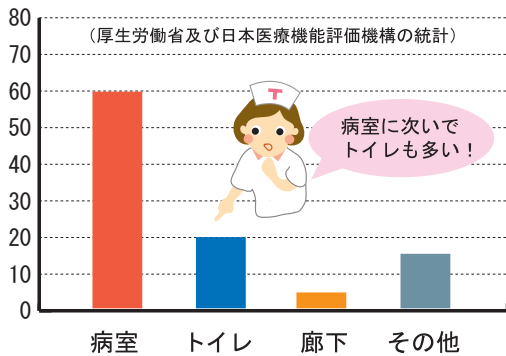




## 今月のテーマ 「転倒・転落の発生場所について」

転倒・転落事故は病室内で起こる割合が高いとされていますが、他にはどんな場所で起きているのでしょうか？  
今月号では転倒・転落事故の発生場所と事故原因について見てみましょう！

### 病院における「転倒・転落事故」の発生場所



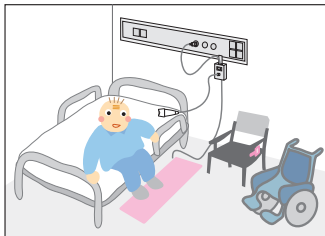
これは、病院で起こった転倒・転落事故の発生場所の割合を示したグラフです。

割合としては、病室が約 60%と圧倒的に高く、次いでトイレ(約 20%)、廊下(約 6%)となっています。

このように、転倒・転落事故の多くは病室 = ベッド周りで起こっていますが、これは、自立歩行が困難であるにも関わらず、単独で離床した患者が、病室内で転倒する事故が多い事を示しています。  
離床する動機については、「トイレ」が最も多いようです。

### 各発生場所における事故原因

#### 1 病室

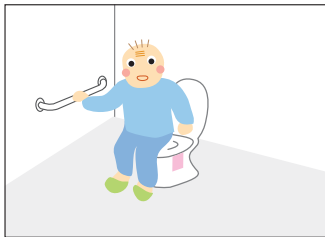


- ・ ポータブルトイレや車椅子への移乗時に転倒した。
- ・ 1人でトイレに行けると思い、ベッドサイドに降りたが下肢の支持力が無く転倒した。

物的対策として有効な離床センサー

コールマット	ベッドコール	サイドコール	タッチコール	介助バーコール
赤外線コール				

#### 2 トイレ



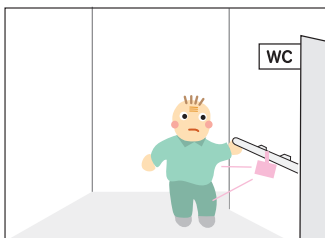
- ・ 下着を上げる際にバランスを崩し転倒した。
- ・ 用を済ませ立ち上がる時に転倒した。
- ・ 座ろうとした時にバランスを崩し転倒した。

物的対策として有効な離床センサー

トイレコール	赤外線トイレコール
--------	-----------

「**今月の現場レポート**」  
今回の現場レポートで「**トイレコール活用事例**」をご紹介します。

#### 3 廊下



- ・ トイレに向かう際にバランスを崩し転倒した。
- ・ 床がすべりやすい状態になっており転倒した。
- ・ 手すりに衣服が引っ掛かり転倒した。

物的対策として有効な離床センサー

コールマット	赤外線コール
--------	--------

誰にでもあるトイレ行動が事故のきっかけになる事が多いようです。その上、ほとんどの場合、本人に起因する事故である為、業務改善やルール化だけでは解決出来ないのが実情です。対象者の事故に繋がる危険行動を報知し事故を未然に防ぐ事が大切です。



来月号もご期待ください。